

令和2年度住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業補助金
事業実績報告書

年間実績

利用者数（実人数）	38人
支援実施延べ件数	204回
従事者数（実人数）	10人

利用者数	38名
 食事作り	141回
草取り	12回
清掃	45回
通院付添い	6回
回数	204回



補助金の主な用途及びその効果等

地域の方のサポートを受けながら、サポートしながら、地域で暮らしているという小さなつながりを大切に、この活動継続に取り組んできて、当法人が目指す「シニアがシニアを支えるまちづくり」が歩み出したように思えます。

少子高齢社会が進む中で、自分のできることは自分でする、でも できないところは応援をしてもらおうという地域の中の助け合いが本当に必要になっていると実感する1年でした。一人暮らしの方も多く、また 子どもたちに仕事を休んでもらってまで迷惑をかけないようにと考えている高齢者の方たちも多く、この事業の利用が増えてきたと感じています。さらに 生活サポーターの皆さんが利用者の方々の気持ちに添って対応してくださっていることが大きい成果を上げていると思います。課題があれば利用者さんからも生活サポーターさんからも事務所に連絡いただき、相談して進めています。随時 生活サポーターみんなで事務所に集まって話し合いをし、高齢者の皆さんの生活を尊重するようなサポートのあり方を検討しています。しっかり生きていく方、柔軟な対応のできる方が生活サポーターにふさわしい方だと思いますので、生活サポーターさんを増やすのは難しいのですが、連合町内会の協力で毎月回していただく町内回覧を見て、問い合わせも多くなっているので、今後は生活サポーターさんを増やし、研修などを行いながら、心のあるサポートをしていきたいと思っています。